決算の主要特徴点

◆ ユーロ圏の財政危機が世界経済に影を投げかけ、中国をはじめ とするアジア経済が景気減速感を強めるなか、円高の進行や 株式相場の低迷など先行き不透明な状態が続いている。 このような状況下、当社の取扱い商品についても需要の減少や 価格の下落があった結果、当第1四半期の業績は、売上高、売上 総利益、経常利益、当期純利益ともに、対前年同期比で減収・ 減益となった。

(括弧内は前年同期比増減)

1 兆 16 億円 (-1,080 億円 / -9.7%) 売上高

- 煙草および水産品の取扱い数量減少などによる生活産業の減収 ・中国・アジア地域における需要減少などによる化学の減収
- 473 億円 (-34 億円 / -6.6%) 売上総利益
- 国内における木材関連取引の減益などによる生活産業の減益
- ・ 化学品の取扱い数量減少などによる化学の減益

経常利益 69 億円 (-43 億円 / -38.5%)

- 売上総利益の減益による営業利益の減益
- 持分法による投資利益の減少

当期純利益 17 億円 (-52 億円 / -76.0%)

- ・ 経常利益の減益および上場株式の評価損の計上などにより減益
- ◆ 2013年3月期 通期業績見通し

4 兆 3,000 億円 売上高 営業利益 520 億円 経常利益 500 億円 当期純利益 200 億円

(前提条件)

為替レート (年平均 ¥/US\$) 原油(Brent)価格(年平均 US\$/BBL)

◆ 2013年3月期 配当(予想)

中間配当 : 1株当たり 1 円 50 銭 1 円 50 銭 期末配当 : 1株当たり

- (注1) 当期より、従来は「生活産業」の区分に属しておりました国内不動産関連事 業を「その他」へ変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を 「化学」へ変更しております。上記要約損益計算書におきましては、変更後 の事業区分に基づき、各セグメントの増減額を記載しております。
- (注2) 基礎的収益力

基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)+金利収支 +受取配当金+持分法による投資利益

(注3) 将来情報に関するご注意

上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断 する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際 の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因によ り大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適 時開示等にてお知らせします。

要約損益計算書

					(単	位:億円)
	当四半期	前年同期			当期見	見通し
	実績	実績	増減	左記〇部分の主な内容		進捗率
	а	b	a-b		С	a/c
				売上高		
売 上 高	10, 016	11, 096	- 1, 080	エネルギー・金属セグメント +49	43, 000	23%
				生活産業セグメント -903		
				化学セグメント -178		
				機械セグメント -43		
				売上総利益		
売 上 総 利 益	473	507	-34	機械セグメント +3	2, 170	22%
(売 上 総 利 益 率)	(4. 72%)	(4. 57%)	(0. 15%)	生活産業セグメント -17	(5. 05%)	
				化学セグメント -10		
				エネルギー・金属セグメント -9		
人 件 費	-203	-201	-2			
物件費	-163	-154	-9			
減 価 償 却 費	-15	-14	-1			
(小 計)	(-381)	(-369)	(-12)			
貸 倒 引 当 金 繰 入・貸 倒 償 却	0	-14	14			
の れ ん 償 却 額	-14	-14	0			
(販管費計)	(-395)	(-397)	(2)		-1, 650	24%
営 業 利 益	78	110	-32		520	15%
(営業利益率)	(0. 78%)	(0.99%)	(-0. 21%)		(1. 21%)	
受 取 利 息	12	11	1			
支 払 利 息	-54	-60	6			
(金利収支)	(-42)	(-49)	(7)			
受 取 配 当 金	13	14	-1			
(金融収支)	(-29)	(-35)	(6)			
持分法による投資利益	17	41	-24	バイオエタノール生産会社(-8)、ニッケル製錬会社(-6)		
その他営業外収支	3	-4	7			
(営業外収支計)	(-9)	(2)	(-11)		-20	-
経 常 利 益	69	112	-43		500	14%
固定資産売却益	1					
投 資 有 価 証 券 売 却 益	10					
(特別利益小計)	(11)	(45)	(-34)			
減 損 損 失	-3					
投資有価証券等評価損	-32			──▶ 株価下落による上場株式評価損等		
関 係 会 社 等 整 理 ・ 引 当 損	-2					
(特別損失小計)	(-37)	(-6)	(-31)			
(特別損益計)	(-26)	(39)	(-65)		(-100)	-
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	43	151	-108		400	11%
法 人 税 等	-29	-35	6			
法 人 税 等 調 整 額	9	-42	51			
(法人税等合計)	(-20)	(-77)	(57)			
少数株主損益調整前当期純利益	23	74	-51		230	10%
少数株主損益	-6	-5	-1			
当期 純 利 益	17	69	-52		200	9%
		1		1		
基礎的収益力	66	130	-64			

要約包括利益計算書

		(単	位:億円)		
		当四半期	前年同期		
的 当期純利	益	23	74		
包括利:	益	-124	71		
利	益	-101	145		
			•		
親会社株主に係る包括利益					
る包括利:	益	9	9		
	包括利 利 系る包括利:	利 益	当四半期資前当期純利益23包括利益-124利益-101係る包括利益-110		

キャッシュ・フローの状況

									(単	位:億円)
									当四半期	前年同期
営	業	活	動	に	ょ	る	С	F	-144	12
投	資	活	動	12	ょ	る	С	F	-74	-113
		(フリ-	— С F	合計	†)			(-218)	(-101)
財	務	活	動	に	ょ	る	С	F	-246	-124
現	金 及	びり	急	同 等	物(の期	末列	ま 高	3, 775	3, 955

要約貸借対照表と	:主要	経営指	標		
				/ H4 /	位:億円)
	12/6末	12/3末		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	位:18日/
_	残高	残高	————— 増減	左記〇部分の主な内容	
	d	е	d-e		
流動資産	12, 433	12, 981	<u>-548</u>		
現 金 及 び 預 金	3, 910	4, 427	_517	借入金の返済等	
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	4, 718	4, 907	-189	化学品および食料関連取引における減少等	
有 価 証 券	33	13	20		
_ た な 卸 資 産	2, 850	2, 706	144	煙草および肥料の増加等	
短期貸付金	53	57	-4		
繰延税金資産	48	46	2		
その他の流動資産	864	881	-17		
貸 倒 引 当 金	-43	-56	13		
_ 用中次主	7 004	0 000	220		
<u>固 定 資 産</u> 有 形 固 定 資 産	<u>7, 884</u> 2, 282	8, 222 2, 333	<u>-338</u> -51		
り お 回 正 頁 座 の れ ん	2, 282 434	2, 333 446	-51 -12		
無形固定資産	751	799	-12 -48		
投資有価証券	2, 963	3, 139	(-176)	株価および為替の変動による減少等	
長期貸付金	2, 303	224	-5		
固定化営業債権	646	682	−36		
_	239	224	15		
投 資 不 動 産	318	319	-1		
ー その他の投資	496	528	-32		
貸 倒 引 当 金	-464	-472	8		
<u>繰延資産</u>	2	3_	<u>-1</u>		
	20, 319	21, 206	-887		
	_ = 0, 0	_ 1, _ 1 1			
		_			
流動負債	9, 329	9, 474	<u>-145</u>		
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4, 327	4, 618	_291	化学品および石油関連取引における減少等	
短 期 借 入 金	2, 934	2, 825	(109)	1年内組替による増加および返済による減少	
コマーシャル・ ^ ° - ハ ° -	20	20	-		
1年内償還予定の社債	550	350	200	1年内組替(+200)	
その他の流動負債	1, 498	1, 661	-163		
田宁色傳	7 010	Q 107	_615		
_ <u>固 定 負 債</u> _ 社 債	<u>7, 812</u> 600	8, 427 800	<u>-615</u> -200	1年内組替(-200)	
_ ¹	6, 524	6, 910	-386	1年内組替(-200)	
_	145	142	3	・Tring ロ1〜5〜0 //ペン	
その他の固定負債	543	575	-32		
	17, 141	17, 901	-760		
	1, 603	1, 603	-		
■ 資 本 剰 余 金	1, 522	1, 522	_		
利 益 剰 余 金	1, 516	1, 517	-1	当期純利益(17)、支払配当(-19)	
自 己 株 式	-2	-2	0		
(株主資本)	(4, 639)				
その他有価証券評価差額金	19	76	-57	株価の変動による減少等	
繰延へッジ損益	17	9	8		
土地再評価差額金	-21	-21	70	も共の亦動にトフ述 の	
為替換算調整勘定	-1, 714	-1, 636	-78	為替の変動による減少	

活 動 に よ る C F ┃ -144 ┃	12	負 債 · 純 資 産 合 計	20, 319	21, 206	-887	
活動による C F -74	-113			_		
(フリーCF合計) (-218)	(-101)	GROSS 有 利 子 負 債	10, 628	10, 905	-277	
活動による C F -246	-124	NET 有 利 子 負 債	6, 718	6, 478	240	
び現金同等物の期末残高 3,775	3, 955	NET 負 債 倍 率	* 2.29倍	* 2.12倍	0.17倍	W 11-150 BCH 10 31 1-300 0 10 11 150 1 10 1 10 1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		自 己 資 本 比 率	* 14.4%	* 14.4%	0.0%	純資産から少数株主持分を除いて計算しております。
		流 動 比 率	133. 3%	137. 0%	-3. 7%	
		長期調達比率	67.0%	70. 7%	-3. 7%	

(-1, 708) (-1, 581)

3, 305

247

3, 178

(-127)

-127

在外会社の年金債務調整額

(その他の包括利益累計額)

少数株主持分

純 資 産 合 計

(単位:億円)	
---------	--

P/L			_			
	12/6期 実績 (※1)	11/6期 実績 (※1)	増減	13/3期 見通し	進捗率	12/3期 実績 (※1)
売上高	10,016	11,096	▲ 1,080	43,000	23.3%	44,942
売上総利益	473	507	▲ 34	2,170	21.8%	2,316
(売上総利益率)	(4.72%)	(4.57%)	(+0.15%)	(5.05%)		(5.15%)
機械	159	156	+ 3	710	22.4%	759
エネルギー・金属	97	106	▲ 9	490	19.8%	578
化学	86	96	▲ 10	370	23.2%	417
生活産業	114	131	▲ 17	545	20.9%	506
その他	17	18	▲ 1	55	30.9%	56
 販管費	▲ 395	▲ 397	+ 2	▲ 1,650	23.9%	▲ 1,671
営業利益	78	110	▲ 32	520	15.0%	645
(営業利益率)	(0.78%)	(0.99%)	(▲0.21%)	(1.21%)		(1.44%)
営業外収支	▲ 9	2	▲ 11	▲ 20	-	▲ 23
経常利益	69	112	▲ 43	500	13.8%	622
(経常利益率)	(0.69%)	(1.01%)	(▲0.32%)	(1.16%)		(1.38%)
	2	4	▲ 2	80	2.5%	124
エネルギー・金属	22	48	▲ 26	270	8.1%	326
化学	18	24	▲ 6	70	25.7%	98
生活産業	16	31	▲ 15	90	17.8%	91
その他	11	5	+ 6	▲ 10	-	▲ 17
特別損益	▲ 26	39	▲ 65	▲ 100	-	▲ 7
税金等調整前当期純利益	43	151	▲ 108	400	10.8%	615
少数株主損益調整前当期純利益	23	74	▲ 51	230	10.0%	▲ 9
当期純利益	17	69	▲ 52	200	8.5%	▲ 36
r						
機械	▲ 12	▲ 1	▲ 11	40	-	81
エネルギー・金属	9	36	▲ 27	205	4.4%	273
化学	14	14	+ 0	40	35.0%	57
生活産業	9	28	▲ 19	45	20.0%	40
その他	▲ 3	▲ 8	+ 5	▲ 130	<u>-</u>	▲ 487
基礎的収益力(※2)	66	130	▲ 64	525		650

(※1)	当期より、従来は「生活産業」の区分に属しておりました国内不動産関連事業を「その他」へ変更しております。
	また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。
	「12/6期(当四半期)」、「11/6期(前四半期)」および「12/3期」の実績につきましても、変更後の事業区分に基づき記載しております。

基礎的収益カ=営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)+金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

				(単位:億円)
B/S				
	12/6末	12/3末	増減	13/3末 見通し
総資産	20,319	21,206	▲ 887	20,500
自己資本 (※3)	2,931	3,059	▲ 128	3,200
(純資産合計)	(3,178)	(3,305)	(▲ 127)	-
自己資本比率	14.4%	14.4%	+ 0.0%	15.6%
ネット有利子負債	6,718	6,478	+ 240	6,800
ネットDER(倍)	2.29	2.12	+ 0.17	2.1
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(2.11)	(1.96)	(+ 0.15)	-
リスクアセット	2,900	3,000	▲ 100	-
リスクアセット/自己資本(倍)	1.0	1.0	+ 0.0	-

自己資本=純資産 - 少数株主持分

前年同期比增減要因

●機械部門

・海外の自動車事業会社の販売台数増加等により売上総利益は増益 ・海外の自動車事業会社における広告宣伝費など販管費の増加に加え、 持分法投資利益の減少により、経常利益は減益

●エネルギー・金属部門

・商品市況下落の影響、一部権益の生産量減少、コスト増加等により 売上総利益は減益 ・バイオエタノール生産会社やニッケル製錬会社等の持分法投資利益が 減少し、経常利益、当期純利益も減益

●化学部門

┣・中国・アジア地域を中心とした需要減少による取扱数量減少、販売価格 下落等により減益

●生活産業部門

・海外肥料事業における取扱数量増加はあるものの、木材関連取引の 減少等により減益

・金利収支など営業外損益の改善等により増益

足元の状況

●機械部門

・足元の進捗は低調なるも、下期にかけて環境・インフラプラント関連取引等 の収益計上を見込む

●エネルギー・金属部門

- 一部商品市況の回復遅れに加え、バイオエタノール生産会社の業績が 天候不順(多雨)や為替の影響を受けており、見通しに対して低調な進捗

●化学部門

・今後の環境変化や市況動向には注意を要するものの、 概ね見通し通りに進捗

●生活産業部門

|・第2四半期以降において海外肥料事業、海外工業団地関連を中心に 堅調な推移を見込む

・見通しに対しては順調な進捗となっているが、今後発生する費用、 特別損失等を織り込んでいる

商品市況•為替							
	2011年市況実績 (年平均)	2012年市況前提 (年平均)	2012年市況実績 12年4~6月平均				
原油(*1)(Brent) (\$/bbl)	\$111.3/bbl	\$110/bbl	\$108.4/bbl				
石炭(一般炭)(*2) (\$/トン)	\$121.3/t	\$115/t	\$96.3/t				
モリブデン (\$/ポンド)	\$15.5/lb	\$17.5/lb	\$13.8/lb				
ニッケル(*3) (\$/ポンド)	\$10.4/lb	\$10/lb	1~3月平均 \$8.9/llb 4~6月平均 \$7.8/lb				
銅(*3) (\$/トン)	\$8,821/t	\$7,690/t	1~3月平均 \$8,308/t 4~6月平均 \$7,867/t				
為替(*4) (¥/\$)	¥79.5/\$	¥80.0/\$	¥79.8/\$				

- (*1) 原油の収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響
- (*2) 石炭(一般炭)は基本的に年間契約であり、直近のSPOT価格の影響は殆ど受けない。また、上記市況実績は当社の販売価格とは異なる
- (*3) ニッケル、銅については1月~12月の平均市況を記載
- (*4) 為替の収益感応度(米ドルのみ)¥1/\$変動すると、売上高で50億円程度、経常利益で2億円程度、自己資本で12億円程度の影響

将来情報に関するご注意